

学習指導部会

【取り組みと成果】

- ・ 各学校での取組状況を知ることができた。小中で共通した取組ができるといいなと思った。
- ・ 家庭学習の在り方について、内容や時間など中学校からの話をもとに学年の発達段階に応じて指導に取り組んだ。
- ・ 姿勢について1単位時間姿勢保持ができるよう体調に配慮しながら指導を行った。
- ・ 宿題について話題になった。その中で、視写をしていると教えていただいたので、宿題で取り組ませた。
- ・ 小学校では、家庭学習について宿題の出し方の意見交換ができたので、参考にしながら実践した。また、学習内容の理解定着について、ICT（特にロイロノート）も活用しながら、学習内容の理解定着を図っている。
- ・ 中学校での学習の進め方がわかった。
- ・ 中学校での学習の進め方について児童に話し、今の勉強との具体的なつながりをイメージしながら学習を深めることができた。
- ・ 各校の学習時の取組について共通理解できた。
- ・ 宿題の出し方についてなど。
- ・ 主に小学校での学習方法が話題に上がっていました。

【課題】

- ・ 家庭学習の在り方が、小学校と中学校では、大きく違っていたように思う。小学校の取組が中学校につながっていくようにしたい。
- ・ 個人の差もあることから、次の学年で困ることのないよう、この1年間の復習をしっかりと行い、底上げを図りたい。
- ・ 教科での取り組みの反省、取り組みの共有等
- ・ いろいろと意見交換はできるが、時間も短くこれからに生かせる内容を焦点化できていたかどうか考えてしまう。
- ・ 教科に分かれた分科会があれば、小中での学力面の課題等の連携が図れるのではないか。
- ・ 話し合った内容を全体で共通理解できるように、1枚の紙にまとめておいた方がよい。

生徒指導部会

【取り組みと成果】

- ・ 共通実践できるものを共通理解することでスムーズな中学校入学への支援。  
①5分前着席②授業前黙想 等
- ・ 不登校について幸いクラスではいなかったが、不登校児童を出さないようにトラブルの早期解決・保護者への連絡と報告を繰り返した。
- ・ ニコニコアンケートで児童の困っている具体的な案件に対応できた。
- ・ 理由は様々であるが、休みが続く児童が不登校になるのを防ぐために、保護者や児童に働きかけることができた。
- ・ 生徒会主導で取り組まれている「1分前着席・30秒黙想」に取り組み、完璧ではないが、少しずつできるようになった。
- ・ ネームプレートの取り扱いについて、小学校と連携を図りながら中学校でも取り入れることができた。
- ・ 休み時間の過ごし方などについて、話し合いをすることができた。休み時間の間に準備させるだけでなく、教科書の配置なども決まっていることを知ることができた。

【課題】

- ・ 小中の更なる連携の強化
- ・ 中学校小学校共に、生徒児童のネットトラブルやインターネットに依存した児童生徒やその保護者への対応に苦慮している様子があった。小学校段階で保護者に中学校での現状などを啓発できると良いのかなと感じた。

#### 特別支援教育部会

##### 【取り組みと成果】

- ・ 他校の支援学級の実情や取り組みを聞くことができ意義ある会だった。今後も指導や支援の在り方について、具体的な方法の情報交換ができるとよいです。
- ・ 夏季や冬季の研修会で、学校間での情報交換ができたことは効果的だった。
- ・ 各学校の取り組みの紹介。これまで実践した取り組みを課題報告し情報共有した。

##### 【課題】

- ・ 支援が必要な児童に対しての校内支援体制で難しい面があった。

#### 旧小6・中1部会

##### 【取り組みと成果】

- ・ 小学校の様子をお伝えできたのと、中学校での様子をお聞きできたので良かったです。
- ・ 子供の様子を聞くのはとても嬉しかったが、それだけにならないようにしたいと思います。中学校からこんな力をつけてほしいなどの要望も教えてほしい。
- ・ 字が雑な子が多いとのご指摘を受け、1年間字形、とめはねはらいを意識して宿題に取り組んできました。ある程度整ってきたと思います。また、分数、小数、わり算の練習も定期的に行いました。身についてきましたが、一過性のものでないことを祈ります。
- ・ 卒業生のその後を知ることができた。
- ・ 生徒が小学生の頃の状況がわかったので良かった。

##### 【課題】

- ・ 児童の連絡が中心となっていた。年度末に行っているのので、今後連携として今年度の確認したいこと、取り組みなどを話し合えたらいいのかなと思う。
- ・ 何か問題が起きた時に、小学校の時はどうだったのか、など、聞いてほしいな、と思います。

#### 養護教諭部会

##### 【成果と課題】

- ・ 中学校校区で情報交換できる時間はとても貴重でした。
- ・ デジタル機器使用時、20～30分に1回は遠くを見て目を休ませること（20-20-20ルール）に学校保健委員会で取り組んだ。約6割ほどしか実践できていない状況なので、継続して取り組む必要がある。
- ・ 共通実践事項については生徒会保体部と連携し、目の健康週間に啓発活動を行い意識づけを図った。今後も啓発活動を継続し、生徒自身で実践できるようにしていきたい。に